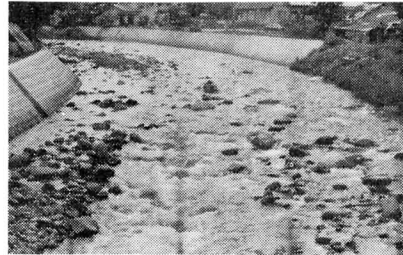


がけに見られる地層は、塊状で層理は観察できません。地層には1～3 cm大の黒や、白っぽい角ばったレキが含まれています。これらのレキは安山岩や流紋岩のレキで、火山灰が海底につもってできた地層で、角レキ凝灰岩層と呼ばれています。



2、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

高橋附近の川

(2) 土手や橋の上から川原のようすや、水の流れを観察する。

① 川の全景をおおづかみにスケッチし、水面から顔を出しているレキの集まっている（川原）所や川床に散点している大きなレキ、早瀬など気付いたことをスケッチに書き入れる。

② 川が大きく曲がっている所で、レキが水面から顔を出し集まっている川原は、内側にあるか、外側にあるか。他の場所でも調べてみる。川が大きく曲がる所では、なぜ、川原は内側に見えるのか話し合う。

③ 橋の近くで早瀬が観察されるが、早瀬では1 m大の大きなレキが川床にゴロゴロしている。なぜ小さなレキはないのだろうか。

④ 小さなレキが水面から顔を出している川原の近くと、川原から離れた所で流れの速さはどう変っているか、木片を流して比べる。

⑤ 川岸の岩盤にできたポット・ホール（おう穴）

橋の下の岩盤に2 mを越えるボールのようなまるい穴が観察できる。よく川底が岩盤でできているところでは、つぼのような穴を見かける。穴の中には石ころが入っており、川の流れで生じたうずで、石ころや砂が穴の中で回

